

vol.

102

2020

11/27 発行



いちのへ社協だより

ゆいっこ



CONTENTS

歳末たすけあい募金運動にご協力お願いします	2	できごとフラッシュ	6～7
特集一戸町訪問助け合いボランティア「すける's」結成	3	社協からのお知らせ	7
小鳥谷保育所・小鳥谷学童クラブってどんなところ？	4～5	相談日程表 etc	8

題号「ゆいっこ」は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。

歳末たすけあい

募金運動

にご協力をお願いします

歳末たすけあい運動は、寝たきりやひとり暮らしのお年寄り、からだの不自由な方をはじめ支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らしていけるよう地域住民のご協力のもとに、だれもがたすけあい、さえあう生活を目指す「福祉のまちづくり」を推進することを目標に運動を展開します。

趣旨をご理解していただき、みなさまからの心温まるご協力をよろしくお願いいたします。

岩手県共同募金会 一戸町共同募金委員会
一戸町社会福祉協議会
一戸町民生児童委員協議会

運動スケジュール

- 11月下旬：運動資材配布
民生児童委員、班長等へ運動資材を配布します。
- 12月1日：募金活動スタート
民生児童委員、班長等が住民の皆様へお願いに上がります。
- 12月14日：募金納入期限
今年度義援金を配分する方々を決定します。
- 12月21日：対象者へ義援金を交付

運動実施期間

令和2年12月1日～12月28日

令和2年度目標金額

3,480,000円
(内訳)
配分金額 3,350,000円
事務費 130,000円

義援金の使いみち 2019

みなさまよりご協力いただいた義援金をもとに、対象となるみなさまへ配分が行われます。誰もが安心して地域で暮らせるよう、ご協力をお願いいたします。



地域子育て支援センターのびのびへの配分

運動会やクリスマス会などイベントのプレゼント等に活用されます。

配分金額 30,000円



子育てサークルいちほへの配分

おもちゃや絵本、安心安全に過ごすための備品などに活用されます。

配分金額 30,000円



世帯への配分

所得が少ない世帯やひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯などへ配分されます。

配分金額 2,782,500円



つながる地域 つなぐて・と・て

part 7 特別号



一戸町訪問助け合いボランティア すける's 結成

一戸町に暮らす80歳以上の高齢者は、1,947人。全人口11,964人(※)に對して、ちょうど1割に相当します。住んでいる地域、家族形態によって抱える課題は様々ですが、共通するのは「一人暮らしへの不安」と「いざという時助けしてくれる人の存在」です。その高齢者の思いに寄り添うため、一つのボランティア団体が立ち上がりました。その名も「すける's(すけるず)」。この町に暮らし続けたい人とそれを支えたい人、共に助け合いながら活動する様子を紹介します。

※参考：一戸町年齢別人口より(令和2年9月30日時点)

「一戸町訪問助け合いボランティアすける's(岩館キミ会長)は、一戸町介護予防・生活支援サービス事業を実施するボランティア団体として今年10月に設立しま



1 10月26日に行われた設立総会。すける's会員は21名でスタート。

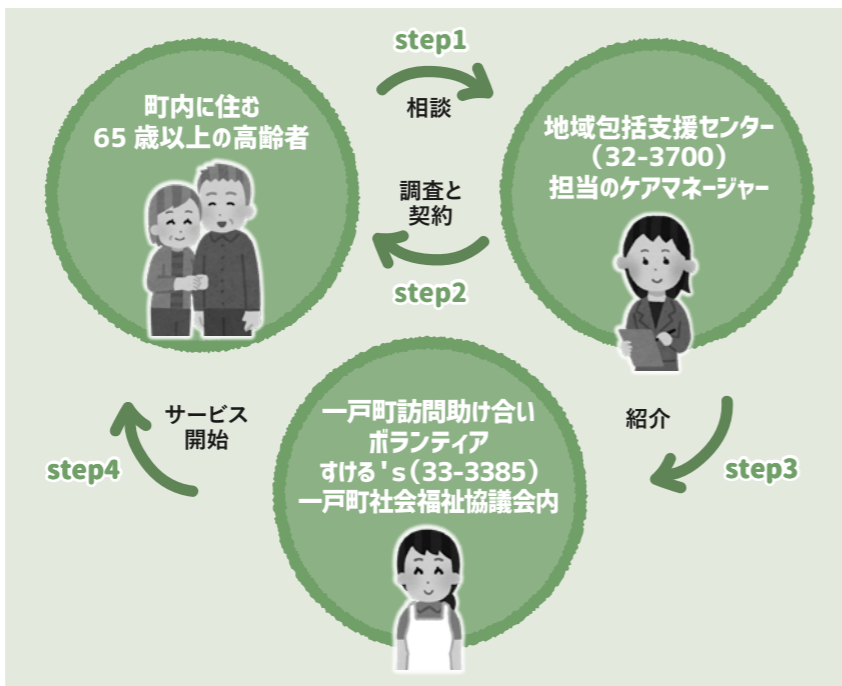


2,3 すける's会長岩館さんと会員斎藤チヤ子さん。「私たちは掃除、柴田さんは洗濯物を畳む。全部やってあげるのではなく、手伝って一緒にやるよう心がけています。」と話す。

従来の介護保険サービス事業者に加えて、地域住民が主体となつて生活支援サービスを提供することで、これまで介護保険サービスだけでは支えきれなかった介護度の低い高齢者にもサービスが行き届くようになること、そしてその高齢者が住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らし続けられるようになることを目指しています。

すける'sに掃除、洗濯、調理などを依頼している柴田八藏さん(85)は一人暮らし。苦手な家事支援と安否確認の必要性から、週1回のすける'sの訪問はなくてはならない支援です。

すける'sスタッフは、福祉や介護の資格を有しません。あくまで住民によるボランティアであるため、サービス内容は家事支援や安否確認などに限定されます。しかし利



用する人もすける'sスタッフも同じ住民であるからこそ、「助け合う」ことが可能になります。住民同士のつながりがあれば、住民の「気持ち」を大切にすることができま。

秋晴れの澄んだ青空の下、住民同士の心が透き通り清らかになることを願って設立された「すける's」。いつも近くにと「すける(手伝う)」人たちがいること、これからの町で暮らし続けたい私たちの「希望の光」になろうとしています。

お問い合わせ
一戸町訪問助け合いボランティア
すける's
事務局 33-33385
一戸町社会福祉協議会内

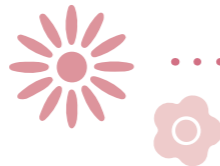


小鳥谷学童クラブ



小鳥谷学童クラブ

ってどんなところ？



協調性豊かに



保育所のお友達とも仲良く。

ルールを守る



3、2、1...
こまわしー！

自ら学ぶ



みんなで読書の時間。

《季節のイベント》



小鳥谷公民館事業で、てんば焼き体験をしました。



なぎなた体験教室。少し緊張…。



遠足で子どもの森に出かけ、思いっきり遊びました。

小鳥谷保育所

ってどんなところ？



げんきな子ども



だんだん畑で、よーいどん！！



きれいなどろ団子できました。



たくさんさつまいも掘ったよ



おねえちゃんがついているからね。



がんばる子ども



カエルみーっけ！！

なかのよい子ども

ひまわりPR

小鳥谷保育所では、四季折々の自然に触れながら、戸外遊びを積極的に取り入れ、少人数保育所の特徴である『異年齢児保育』のもと、17名の子供たちが毎日元気に楽しく生活しています。園舎の周りには、広い3つの園庭や段々畑もあり、固定遊具ではほとんど遊ばず、春には田んぼや小川でおたまじゃくし・カエル・やご探し、夏は泥んこ遊び・ウオータースライダー、秋にはバッタやトンボとりや栗・あけび取り、冬は斜面を滑るのソリ遊びなどなど、2時間はたっぷり遊べます。四季を通して、五感を刺激し丈夫な体作りに適していて、子育てには抜群の環境にあります。

また、『食育』にも力をいれており、畑活動（種まき・苗植え・収穫）やクッキングを小さい時から体験させて、たくさん遊びたくさん食べるという基本的な生活習慣を身に付け、将来の『生きる力』を育てています。

（文：松館所長）



小鳥谷保育所職員の皆さん

施設データ

（令和2年10月29日現在）

- 施設名 一戸町小鳥谷保育所
- 所在地 一戸町小鳥谷字中屋敷上 1-11
- 施設長 松館聖子
- 職員数 6名
- 児童数 17名

ひまわりPR

小鳥谷学童クラブは、平成25年に保育所から独立し、公民館の隣りに新築されました。今年度は入所児童が減少し、現在は10名と少人数ですが小規模ならではのアットホームな雰囲気の中で1年生から6年生まで兄弟姉妹のように仲良く過ごしているのが特徴です。

立てわりのグループを作り一緒におやつを食べたり、掃除をしたり、高学年が低学年の面倒を見ながら放課後の生活を送っています。また、時間があるときは保育所に遊びに行き更に小さい子たちと異年齢の関わりを持ち交流を深めています。

これからも小鳥谷の自然の中で伸び伸びと心も体も大きく成長してほしいと思います。

（文：東山指導員）



小鳥谷学童クラブ指導員の皆さん

施設データ

（令和2年10月29日現在）

- 施設名 小鳥谷学童クラブ
- 所在地 一戸町小鳥谷字中屋敷上 1-11
- 施設長 松館聖子
- 職員数 2名
- 児童数 10名

次号では、奥中山保育所と奥中山学童クラブをご紹介します。

一戸町社会福祉協議会では、今年度より町内8つの保育施設等の運営を町より受託することとなりました。今回は前号に引き続き、2つの保育施設をご紹介します。

東京パラリンピックに向けて私たちができること 一戸小学校バリアフリー体験学習

9月24日(木)、(株)富士通岩手支店と二戸町、当協議会が合同で一戸小学校4年生の児童33名を対象にバリアフリー体験学習を行いました。

来年の東京パラリンピックにおいて一戸町が南米パラグアイの選手のホストタウンに決定したことに伴い、障がいを持つ方々の立場で考える力を養い、バリアフリーへの理解を深めることを目的としており、御所野縄文公園など公共施設で車いすを使用し生活上のバリアを体験、その後気づいたことをまとめバリアフリーマップを完成させました。



車いすを使用し様々なバリア体験する子どもたち。

一戸高校探求学習会

「子ども発達〜遊びが生み出す笑顔〜」

一戸高校で取り組んでいる「総合的な探求の時間」の一環として家庭・保育を専攻する生徒4名の学習会が、9月24日(木)一戸町子育て支援ボランティア「おはなしランド」(坂下智子代表)の協力のもと行われました。

子どもに読み聞かせを行う上での留意点や絵本の選び方など保育に関する知識を深めました。参加した田村寧菜さん(同校2年)は、「将来は保育士を志している。今日の内容を活かして子どもたちの前で実践したい。」と意気込んでいました。



おはなしランドの皆さんによる絵本の読み聞かせを、メモを取りながら熱心に聞き入る一戸高校の生徒。

鳥海保育所 秋の遠足

10月2日(金)、鳥海保育所(下村孝子所長)では秋の遠足を実施しました。未滿時クラスは保育所付近をお散歩し、園内でお弁当を食べました。3歳児クラスのうさぎ組と4歳児クラスのぱんだ組は二戸駅経由で花の丘公園まで、5歳児クラスのきりん組は御所野縄文公園まで、みんなで元気に歩きました。この日は天気にも恵まれ良く晴れた秋空の下、お家の方が作ってくれた可愛らしいお弁当をどの子たちも嬉しそうに頬張っていました。



沢山歩いた後、友達と外で食べるお弁当は格別でした。

ふれあいいきいきサロンと敬老の日

今年度の一戸町敬老会は、各地域の自治組織、住民の自主的な地域活動団体など、地域住民の皆さんの力によってその地域の特色溢れる敬老会が開催されました。



つつじの里での交流会には、岩手県立大の学生と一戸高校の生徒がボランティアとして参加。

諏訪野3町内会合同で運営しているサロン「どんと会(小野寺多美子代表)では、9月9日(水)に一戸警察署駅前交番佐々木講一巡査を招き、東日本大震災の体験をもとにした講演会を開催、終了後参加者には豪華な弁当が手渡されました。宇別椋ノ木地区で実施しているサロン「つつじの里」(大欠ケイ子代表)は、9月21日(月)に孫世代との交流会を開催しました。割りばし鉄砲や牛乳パックヨーヨー作りを行い、敬老の日を楽しみました。



どんと会での二戸警察署佐々木講一巡査による東日本大震災に関する講話。

まるっとカフェ地域巡回中

商業と福祉の連携広がる

認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりを目指して、一戸町地域包括支援センターと当協議会で開催するまるっとカフェは、毎月1回町内5地区の商業店舗を巡回中です。

9月29日(火)はI・GRいわて銀河鉄道小鳥谷駅(前迫昭夫駅長)で開催し、小鳥谷保育所の園児16名も訪れ、地域の高齢者とのふれあいを楽しみました。10月18日(日)は鳥越にあるおむすび屋さん(柴田照子店主/鳥越上野平36)にて、川原田女性部さくら会の会によるクラフト作品の販売や図書、相談のブースを設け多くの参加者で賑わいました。今後もまるっとカフェを通じて、商業と福祉の連携を深めていきたいと思えます。



1 小鳥谷駅前の広場での図書館職員による読み聞かせ。
2 ごしょどんパズルで脳トレ体験も行いました。
3 左: 店主柴田照子さんと、右: おむすび屋の売り子柴田弥優羽さん(宮城女子学院大2年)。一戸高校の生徒もボランティアで参加しました。
4 通りかかった二戸警察署一戸交番北條武蔵巡査との思いがけない交流に会話も盛り上がりしました。

社協からのお知らせ

あんしんねっと(日常生活自立支援事業)のご案内

高齢の方や障がいをお持ちの方で福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭の管理の判断が難しい方がお住まいの地域で安心して過ごせるようお手伝いを行う事業です。

- こんなことでお困りではありませんか?
- ・通帳や印鑑をどこにしまったか忘れてしまう。
 - ・計画的なお金の支払いができないことがある。
 - ・福祉サービス利用の手伝いをしてほしい。

利用料: 1回1時間あたりおおむね1,300円(相談は無料)
問い合わせ先: 一戸町社会福祉協議会 ☎ 33-3385

生活・しごとに関する困りごと相談会開催のお知らせ

「家賃を滞納して公共料金を払えず困っている」「仕事が続かず生活が苦しい」「人とうまく付き合えず引きこもっている」など、どこに相談したらよいか悩んでいることなどの相談を受け、関係機関と連携しながら生活のお手伝いを行います。相談は無料です。

日時: 令和2年12月18日(金) 午前10時~正午まで
場所: 一戸町総合保健福祉センター会議室
問い合わせ先: 二戸市社会福祉協議会くらしの相談窓口 ☎ 43-3588(予約不要)

一戸町家族介護者交流会

一戸町地域包括支援センターでは、介護をされている方を対象に家族介護者教室を開催しています。日頃の介護からはなれて『カラダ』と『ココロ』のリフレッシュを試みませんか?

創作活動や調理実習、介護に対する悩みや疑問の相談を行っています。
日時: 令和2年12月8日(火)
令和3年1月12日(火)・2月9日(火)・3月9日(火)
いずれも午前10時~正午まで

場所: 一戸町総合保健福祉センター検診室
参加費: 1回100円
問い合わせ先:
一戸町地域包括支援センター ☎ 32-3700



「福祉バザー展」中止のお知らせ

今年度の福祉バザー展は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とさせていただきます。バザー出品物の回収も、今年度は行いませんのでご了承ください。例年同日開催している一戸町高齢者作品展の開催については、町広報誌等にてお知らせいたしますのでご確認ください。
問い合わせ先: 一戸町社会福祉協議会 ☎ 33-3385

各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	くらしの相談窓口	ふれあい相談
開催日	12月 8日(火) 12月22日(火)	12月15日(火)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)
	1月12日(火) 1月26日(火)	1月19日(火)		
	2月 9日(火) 2月22日(月)	2月16日(火)		
	3月 9日(火) 3月23日(火)	3月16日(火)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	8:30～17:15	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 23-5800※要予約		二戸市総合福祉センター TEL 43-3588	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉センター内) TEL 33-3385

寄付御礼

(令和2年9月～令和2年11月取り扱い分)

◆ にこトピア一戸様

書き損じハガキ・使用済み切手のご寄付を頂きました。

頂きました書き損じはがき・使用済み切手は岩手県社会福祉協議会を通じて、「いわて車いすフレンズ」へ寄付させていただきました。

〈お詫びと訂正〉

令和2年9月25日発行の「いちのへ社協だよりゆいっこ」vol.101号、5ページにつきまして、次の通り誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【誤】〔悪戸平〕柴田継男様(79)チエ子様(78)

【正】〔川原田平〕柴田継男様(79)チエ子様(78)

編集後記

今年は遅いと思っていた山々の紅葉も一気に色づき始め、私も子どもと紅葉狩りやどんぐり拾いなど秋の遊びを楽しんでいます。ゆいっこ vol.102の取材も、子どもたちの遠足やいもほり、ハロウィーンなど秋を感じるものばかりでした。

ゆいっこで保育所や学童の特集をするようになり、今回で3回目。カメラを向けると色んな表情で応えてくれる優しく可愛い子ども達ですが、後半は必ず「カメラ貸して!!」「撮ってみたい!!」が始まり、キッズカメラマンによる撮影会がスタート…。子ども目線の写真、案外良い写真が撮れていたりして。

今年度のゆいっこ発行も、残すところ1回となりました。ラストも、子どもたちのたくさんの笑顔をお届けできるよう努めていきます。(小野寺)

災害義援金募集のお知らせ

社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金会や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。

- 東日本大震災義援金
(受付期間：令和3年3月31日まで)
- 平成28年度熊本地震災害義援金
(受付期間：令和3年3月31日まで)
- 令和2年7月豪雨災害義援金
(受付期間：令和2年12月28日まで)

その他、平成29年度以降に発生した大雨災害義援金についても受付しております。各種義援金については、一戸町社会福祉協議会(電話：33-3385)までお問合せください。



表紙の紹介



自然の中での遊びを満喫する、小鳥谷保育所の園児。園庭の周りには木々、土、石、草花、虫…子どもたちにとってすべてが遊び道具です。

社会福祉法人一戸町社会福祉協議会

〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2 (一戸町総合保健福祉センター内)
TEL 0195-33-3385 / FAX 0195-33-2737
ホームページ <http://ichinohe-shakyo.jp/>

